



薩摩川内市 市議会本会議

井上氏以外は全議員が反対

核兵器禁止条約の締結を求める意見書の提出と非核宣言都市であることを市民に知らせるモニメントの設置を求める請願書

17日、薩摩川内市議会本会議は、請願第11号「核兵器禁止条約の締結を求める意見書の提出と非核宣言都市であることを市民に知らせるモニメントの設置を求める請願書」を日本共産党の井上かつひろ議員以外の反対で不採択にしました。井上氏は賛成討論で採択するよう求めましたが、反対討論はなく不採択の理由は明らかにされませんでした。

17日の本会議のようすを見ていた市民から「何という議会でしょうーあきれ果てますね」というメールが井上氏のところへ届きました。

この日は病気のため欠席者が一人、議長を除く22人が電子評決のボタンを押しました。結果は賛成1反対21の賛成少数で不採択です。

請願書は、世界から核兵器廃絶を願うと同時に薩摩川内市が非核宣言都市であることを知った市民からのものです。

本会議で「請願11号は」紹介議員による説明を求め、慎重な審議の結果、起立なしによる不採択としました」と報告した委員長に対し、「不採択の理由は何か」「憲法に定められた請願権をあまりに軽い

あつかいではないか」と質疑を行いました。委員長は「報告のとおり」と不誠実な答弁しか帰ってきませんでした。

世界で唯一の被爆国日本が核兵器禁止条約に背を向けていることがアメリカ、中国、ロシア、フランス、インド、パキスタンなどの核兵器保有国との核兵器保有宣言を促している国を励ます結果になっています。「核のバランス」の立場に立てば人類が絶滅する

まで核兵器の製造、保有、より使いやすい核兵器の開発が進められることとなります。井上氏は「総務文教委員会は、紹介議員に対する質疑もなく、審査では討論もありませんでした。しかし、結果は不採択です。委員長報告にも、不採択の理由は示されませんでした。そして、本日の本会議においても、討論はわたくしの賛成討論だけです。私は賛成の理由を述べました。本会議場には請願者も傍聴に来ています。議員各位が賢明なご判断をいただくことを願います。」と訴えました。

請願第11号												
賛成												
成川幸太郎	塩田耕太郎	徳永 武次	中島由美子	川添 公貴	森永 靖子	新原 春二	宮里 兼実	石野田 浩	井上 勝博	福田俊一郎	瀬尾 和敬	大田黒博
山中真由美	溝上 一樹	岩切 正之	坂口 正幸	山元 剛	犬井 美香	阿久根憲造			落口 久光	森満 晃	帯田 裕達	下園 政喜



写真上は、電子評決の結果（森永議員は欠席）。写真下は、電子評決直前の様子(= 17日、市議会本会議場)

あわててマイナ保険証に切り替える必要はありません

現在は、医療機関で紙の保険証とマイナ保険証の両方が使えます。市が把握している国保世帯のマイナ保険証の普及率はおよそ7割です。ところが病院の窓口で、マイナ保険証を使う外

患者は少数です。紙の保険証は窓口で渡すだけです。マイナ保険証は機械で顔認証や暗証番号を入力する手間がかかります。12月から健康保険証の発行が廃止されます。ただ、現在の健

康保険証は記載されている有効期限まで使えます。またマイナ保険証を持たない人には「資格確認証」が自動的に送付され、健康保険証同様に使えます。

井上氏は17日の市議会本会議で「マイナ保険証は」全国紙が相次ぎ社説で一旦立ち止まれと主張する異例の事態。世論調査でも、マイナ制度への不安と健康保険証の廃止に反対とする声は7割超。「国民の所得、資産、社会保障給付を把握し、国民への徴収強化、給付削減を押しつけるマイナンバー制度は反対」と保険証廃止にもなう条例改正案に反対しました。

こちらの相談所
(No. 590)
携帯 080-3996-0237
(井上)
なんでもご相談ください。



エプロンおばさんの 簡単クッキング (647)

塩もみキャベツと ひき肉のサラダ



材料 (2人分)
キャベツ 1/4 個、豚ひき肉 150g、
A (ごま油大1、かつお節1パッ
ク<4g>)、B (塩小1/4、すりお
ろしショウガ1片分)、C(しょうゆ・
みりん各大1、酢大2、砂糖小1)

- 作り方
①キャベツは千切りにし、塩小1/4とポリ袋に
入れてもみ、ボウルに入れてAとまぜる。
②フライパンにひき肉とBを入れ、まぜながら
火にかける。ひき肉に火がとおったらCを入れて
混ぜ、①のキャベツの上にかき、まぜる。

新田神社の参道に 設置された人形の モニュメント

「新田神社の参道に
建てられている11体
ほどの人形のモニュ
メントがかなり老朽
化している」という
相談がありました。
人形群の傍らには
「地域の複数の方がそ
う思っている」とのこ
と。市に調べてもらっ
たところ、「昨年の委
員会で指摘があり、調
べたうえで管理団体の



新田神社参道にある
人形のモニュメン
ト、17日撮影

「若い力」川内青年商
工クラブ 贈 美育研
究会」の記念碑があり、
側面に「昭和三十九年九
月二五日」「学生これ
をつくる」と読み取れ
るから、60年前に当時
の学生によって造られ
たものということがわ
かりました。相談者
によると「修復か、撤去
ができないか」という
こと。相談者以外にも
「地域の複数の方がそ
う思っている」とのこ
と。市に調べてもらっ
たところ、「昨年の委
員会で指摘があり、調
べたうえで管理団体の

井上氏の請願第11号に賛成討論の要旨 請願は2006年の市議会決議と合致

1945年8月6日
広島・9日長崎に投下
された原子爆弾(原爆)
は年末までに広島でお
よそ14万人、長崎でお
よそ7万人が亡くなり
ました。何万という人
たちが一瞬のうちにこ
の世から消えました。
そして、それだけでは
ありませんでした。か
らうじて生き残った数
十万という人々は、原
爆の熱線によるやけど
、爆風によるけがと
放射線被ばくという地
獄が待っていました。
戦争が終わってから
も、放射線によって多
くの人々が苦しめられ
ました。たとえ戦争で
あったとしても許され
ない民間人を狙った大
量殺傷兵器である原爆
は二度と人類が使つて
はいけない悪魔の兵器
なのです。

経った2021年1月
22日に発効しました。
世界で唯一の被爆国で
ある日本の政府は、喜
んで条約の署名し、批
准するだろうと誰しも
が期待しました。しか
し、その期待は大きく
裏切られてしまったの
です。

日本政府が、核兵器
禁止条約に背を向け
ていることが、核兵器
保有国をどんなに励ま
していることでしょう
か。

薩摩川内市議会は、
2006年9月28日
(平成18年)に「核兵
器廃絶・世界の恒久平
和を希求する薩摩川内
市宣言」を決議しまし
た。決議は、「世界の
恒久平和と、核兵器が
すべての国から一日も
早く廃絶されることを
願ひ、ここに「核兵
器廃絶・世界の恒久平
和を希求する薩摩川内
市宣言」を決議する。」
としています。

力で壊滅的な打撃を与
えられる核兵器を持つ
ことが至上命令となる
でしょう。それは相手
国にしても同じです。
核のバランスという立
場にたてば、人類は自
らが絶滅するまで核兵
器を製造・保有しつづ
けなければならぬとい
は必然ではないでしょ
うか。

だからこそ広島・
長崎の被爆者の痛苦
の思いは世界に届き、
2017年7月に「核
兵器禁止条約」が国連
で採択され、3年余り

これらの核保有国
は、なぜ核兵器をもつ
のでしょうか。それは核
を持つことによって、
相手国の核兵器を使う
手を縛っている。「核
のバランス」という考
え方によっているのだ
ろうと思われる。

そのような立場から
は、相手国が持っている
核兵器よりもより強

請願は、2006年
の市議会決議の趣旨
に合致したものです。
よって私は、請願第
11号に賛成し採択す
べきものと考えます。



←中俣先生のブログはこちら

中俣先生の つれづれなるままに (772)

台風10号が過ぎ去った庭に、
スズメが来なくなった。来ても
数羽。台風で住居が破壊された
のだからか。吹き飛ばされて怪
我もしたのだろうか。心配が
絶えない。貞子さんは、新米が
出回っているからそちらの方へ
行ったのではと、能天気な考え
ている。そうか、そうかも知れ
ない。台風で吹き倒れた新米は、
結構なスズメたちの食糧だ。し
かし、自民党農政の失政で、今
年はコメ不足らしい。私が住む
西側の広大な水田も埋め尽くさ
れ、今ごろは新米が穂を垂れて
いるのに、今年は埋め立てのた
めの重機ばかりが意味もなく目
立つ。十数羽のスズメたちの群
れはどこに行ったのだろうか。
ちゅんちゅんと、撒いた米粒を
食べるスズメの姿は、私にとつ
ては癒しそのものだった。庭に
その姿がなく、俺たちは庭木だ
ぞと、そんなに威張らんでもよ
いのに、庭木だけが胸を張って
いる。面白くもなんともない。
時々風に乗ってダンスをするく
らいが関の山。動きがないから、
すぐに見飽きて眠くなる。今日
もそうやってぼんやり眺めてい
るうちに眠くなった。特に、児
童クラブが休みの日にはそう
だ。そつやつつとうとうとして
ると、お父さんと、元気な貞子
さが帰ってきて起こす。なんだ、
貞子さんかと、ぼーっとした目
を開ける。そんな日々で、認知
症が進むのではと心配になって
きた。とにかく、動きのあるも
のに目をやり、体を動かす。80
才だから気を付けなれと思っ
ていても、夏の疲れが私を眠く
する。(児童クラブ支援員)